

都市再生整備計画 事後評価シート
阿久根中心市街地地区

平成31年3月

鹿児島県 阿久根市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	鹿児島県	市町村名	阿久根市	地区名	阿久根中心市街地地区			面積	143ha				
交付期間	平成26年度～平成30年度	事後評価実施時期	平成30年度	交付対象事業費	1793.5 百万円	国費率	0.40						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】市道琴平浜中央線、市道琴平南通り線、市道浜中央線、市道3-6-2 阿久根港本通り線、市道本町河畔線、市道3-4-7 港潟線、市道鶴見線、市道大丸北線 【高次都市施設】市民交流センター										
		提案事業	【地域創造支援事業】市立図書館										
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		基幹事業	【道路】市道3-4-7 港潟線	他事業により先行実施することになったため、対象から削除			指標1(市民交流センターの入場者数)の目標値を下方修正						
		基幹事業	【道路】市道鶴見線	市立図書館事業の削除にあわせ、対象から削除			指標1(市民交流センターの入場者数)の目標値を下方修正						
		基幹事業	【道路】市道大丸北線	計画期間内での施工が困難となったため、対象から削除			指標1(市民交流センターの入場者数)の目標値を下方修正						
	提案事業	【地域創造支援事業】市立図書館	財源等の理由により一時凍結とし、計画から削除			指標1(市民交流センターの入場者数)の目標値を下方修正							
新たに追加した事業	基幹事業	-	-			-							
提案事業	【事業活用調査】事後評価調査(阿久根中心市街地地区内)	市直営から委託業務への変更に伴う追加			影響なし								
交付期間の変更	当初	平成26年度～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-							
	変更	-	-			-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
	指標1	市民交流センター(風テラスあくわ)の入場者数	人/年	43,226	H24年度	53,892	H30年度	モニタリング	評価値	達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標2	観光行事イベントの来場者数	人/年	68,051	H24年度	100,000	H30年度	-	31,763(推計値)	△	あり なし	H28～29年度は、建て替え事業の影響もあり、入場者数が減少。H30年度は改善傾向がみられるものの、目標は未達成。	H31年11月以降
											あり なし	H26～27年度は、2年連続で目標値を上回ったものの、その後はやや減少し8～9万人台で推移。更なる活性化策が望まれる。	-
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の		フォローアップ		
	その他の数値指標1	市民交流センター開館前後の月別入場者増加率(11-12月/9-10月)	-	0.82	H24年度			モニタリング	評価値	達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現状況	フォローアップ予定時期
									2.68(確定値)			施設機能が向上されたことにより、新規オープン前後2か月比較で、入場者数が2倍以上に急増。	-
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 歩行空間(路側)のカラー舗装化により、歩行者、特に子どもたちの通行の安全性が向上した。(学童クラブ職員や保護者からの意見あり) 市民交流センターの整備により、文化・交流施設としての機能が多様化・高度化され、その結果、多種多様なイベントが開催されるようになった。 												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	-		都市再生整備計画に記載し、実施できた				-					
	住民参加プロセス	市民交流センター等の設計業務に関する市民ワークショップの設置・開催		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-					
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					
持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり推進のための勉強会の開催		都市再生整備計画に記載し、実施できた				●						
	地域資源発見のための住民参加イベント(ウォーキング大会等)の実施		都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				-						
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-					

※ 指標1の市民交流センターの評価値は、施設が完成し利用が開始された日が平成30年11月1日であったことから、その前日までの旧市民会館の利用者数と、利用開始日から年度末までの利用数(実績値及び見込値)の合計値である。

様式2-2 地区の概要

阿久根中心市街地地区(鹿児島県阿久根市) 都市再生整備計画の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
地域の宝を育て、人の絆でまちを楽しむ「うみ・まち・にぎわい」の阿久根まちづくり (阿久根市「うみ・まち・にぎわい」再生整備基本計画 平成25年9月) 1) 「阿久根のにぎわいと交流の拠点づくり」 2) 「阿久根を楽しむおもてなしのまちなみづくり」 拠点をつなぐまちなみ回遊ルートの形成 3) 「阿久根を導く協働によるリーディングプロジェクトの展開」	市民交流センター(風テラスあくね)の入場者数	単位:人/年	43,226	H24年度	53,892	H30年度	31,763(推計値)	H30年度
	観光行事イベントの来場者数	単位:人/年	68,051	H24年度	100,000	H30年度	85,151(確定値)	H30年度
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 歩行空間のカラー舗装化により、運転者の視認性向上を図ることができ、歩行者や買物客の安全性向上につながった。 歩行空間のネットワーク化やミニパークの整備(観光サイン、休憩所の設置)により、回遊ルートとしての機能性向上、観光客の利便性向上に貢献することができた。 多様な機能を備えた市民交流センターが整備されたことにより、旧市民会館が抱えていた老朽化対応等の課題が解消されるとともに、新たな文化・交流拠点が形成された。 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 歩行空間ネットワークの充実・機能維持(路上駐車対策等) 市民交流センターの特性を最大限に活用し、更なる利用促進を図るための事業の推進(貸館事業、自主事業、広報宣伝活動等) まちなかの回遊性促進のためのハード対策(観光サイン、駐車場、景観整備等)とソフト事業(観光促進策、鉄道・駅利用者の増進策等)の充実・推進 財源等の理由により一時凍結として計画から除外した「市立図書館整備事業」の検討再開及び事業推進 							